

OCTOBER 2004

広報

The Public Relations of YAMAGATA

やまがた

最終号

平成16年10月15日発行

10

No.359

CONTENTS

- “広報やまがた”を廃刊いたします
- 広報で見る「山方町」の50年
- まちかどNOW
- 「あなたの声21」最終回
- 読者に感謝の心を
- 最終号によせて

ありがとう 山方町
未来を託して 常陸大宮市へ



「広報やまがた」を廃刊いたします

昭和の大合併と言われた昭和30年に、現在の「山方町」が1町4カ村の合併により誕生しました。以来、50年間多くの先人の方々をはじめ、町議会、町民の皆様のご尽力によって、山方町は一步一步着実に発展してまいりました。あらためて深甚なる敬意と感謝を申し上げます。

しかしながら、全国的な動向として従来の制度や仕組みの変革が行われるとともに、市町村合併が進められる中、山方町もこの10月をもって5町村合併により50年の歴史に幕を下ろし、新たに「常陸大宮市」としてスタートすることになりました。これからの常陸大宮市としての発展に、皆様の更なるご支援、ご協力をお願い申し上げます。

さて、「広報やまがた」も昭和31年9月に「山方町報」として第1号が創刊されてから今回で359号の発行をみました。この間、町から町民の皆様へ行政の情報をわかりやすくお伝えすることができるよう紙面づくりに努めてまいりましたが、ここに最終号を迎え、万感胸に迫る思いがございます。今後は、「広報ひたちおおみや」として、よりいっそうの充実に期待をよせたいと思います。また、広報を編集するにあたり、これまで情報の提供、連載記事の執筆などのご協力をいただいた多くの方々に、敬意を表するとともに深く感謝を申し上げます。

最後になりましたが、10月16日から常陸大宮市民として皆様のご活躍をご期待するとともに、ご健勝、ご多幸をご祈念申し上げます。

ありがとうございました。

平成16年10月15日

山方町長 三次 真一郎



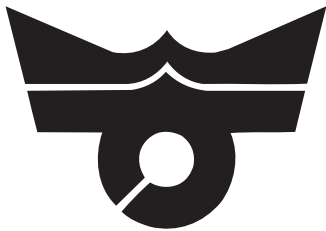
「広報やまがた」から「広報ひたちおおみや」へ

広報で見る

山方町

の50年

昭和31年9月15日に発行された「山方町報」第1号



デザインを公募し、昭和39年に益子稔氏(大字長沢)の原作、後藤末吉氏の補作により完成した町章。

「山方」の2文字を図案化したもの。



昭和

30年	現在の山方町が誕生
31年9月	「山方町報」第1号を発行
同11月	水郡線野上原駅・中舟生駅開設
同12月	山方中学校校舎完成
32年8月	有線放送電話業務開始
34年4月	下小川中学校が山方中学校に統合
同4月	西野内小学校が山方小学校に統合
同5月	町長選挙(根本三郎氏当選)
35年4月	区制施行
36年4月	山方小学校野上分校が野上小学校に独立
同12月	役場支所(諸富野・下小川・長田)が廃止
37年3月	神奉地町営住宅完成
同5月	野上小学校校舎完成
同6月	諸富野小学校校舎完成
38年3月	久隆小学校校舎完成
同4月	町長選挙 根本孫次氏初当選
同7月	「山方町報」を「町報やまがた」に改訂
39年4月	地籍調査に着手
同9月	山方町章を制定
40年4月	塩田・諸富野・山方中学校を統合
41年11月	舟生・西野内地区圃場整備開始
42年2月	NHK中継局(長沢)開局
44年1月	農村集団電話が開通
同2月	山方中学校校舎・体育館完成
44年5月	山方宿駅前大火20棟が全半焼
45年3月	盛金小学校校舎完成
同4月	県立山方商業高校開校
同4月	学校給食センターが操業開始

(旧山方小校舎使用)



「山方町報」第1号に掲載された新山方町誕生と役場庁舎完成の記事。

【山方町人口14,011人】



第37号(昭和44年5月発行)に掲載された山方中学校校舎完成の記事。

(日)
町 報 や ま が た
昭和49年10月15日



第 6 0 号



町 勢

49年10月1日現在

世帯数 2,543戸

人 口 10,377人

男 5,039人

女 5,338人

道 価 84.31%

発行日/昭和49年10月15日
発行所/山形市役所
町長 榎本達次
印刷/新いばり印刷局



完成した中央公民館

「二億一千九百万円の巨費を投じて、一千万円のコミュニティセンターの館が九月末に完成し、新形神社の森の緑をバックにして、そくり立つ雄姿は夢と目を驚かすばかりであります。現在その外観にふさわしい内部装飾品の「観音配置」を行なった後に本格的な運営に入り

昨年十月の町報に「団体関係の十月までに完成の予定である」と報じられました通り、今月十五日が町報の刊行日となり、この公民館にて一夜を過ごしたことは、公民館の完成を記念することによふものと存じます。

今後の運営については、町民の公民館への利用の促進、町民の公民館の発展のため、公民館の「民館」であらねばなりませんので、今後は、あらかじ内部を御案内いたします。

まづ町営駐車場、建物の通路等を整え、また近代化リシン、建物を磨き、また、これを見守る市民の白組が若き人目の目に飛び込むべく、

町民待望の 山形町中央公民館完成

＝楽しい町で明るく生活＝

毎月 第1曜日は……清掃の日 第3日曜日は……家庭の日

照山分校と本校を
統合し、校舎を新
築した小貫小学校
が開校。
(昭和40年
4月号掲載)



宮脇五〇二番地に
新生
小貫小学校開校

新生南方町立小貫小学校は昨年四月、日を
もつて、照山分校と本校を統合、教育環境に
ふさわしい小貫字宮内に新敷地六九八㎡を
確保、四七年六月、日立市鉦樋工業（株）（鉦
木正義社長）によって新築工事に着手、約二
六日の期をもつて、普通教室六室、音楽室
一室、図書室二室、理科室一室、家庭科室一
室、資料室一室、保健室一室、校長室、公使
室、職室、放送室、玄関・昇降口等、鉄筋
二階建て面積一六〇平方メートルを四九
五〇万円もつて二月七日完成をみた。地元学
校後援会、会長木村實氏、の協賛により四月
二三日（前）一時より同校において来賓多数
の臨席のもとに竣工式を挙行、眼下に誇る理
想的な小学校が誕生した。

役場隣に社会教育
の拠点「中央公民
館」が完成。
(昭和49年
10月号掲載)

46年4月	山方町が過疎地域に指定される
同 10月	第1回町民体育祭を開催
47年3月	小貫小学校照山分校を廃止
同 5月	患者輸送車みどり号運行開始
同 7月	第1簡易水道が竣工 (山方・舟生・西野内)
48年2月	小貫小学校校舎完成
同 4月	野上保育園開設
同 4月	大宮山方地区消防事務組合が発足
同 11月	国道舟生橋・県道小貫橋・盛金橋が開通
49年9月	山方町中央公民館完成
同 10月	第29回国体茨城大会 (山方町は山岳競技の会場)
同 11月	第2簡易水道が完成(小貫・野上・照田・長田・長沢)
50年4月	野上・小貫に町営住宅が完成
51年3月	現在の役場庁舎が完成
同 5月	昭和天皇皇后両陛下全国植樹祭ご臨席のため山方町をご視察
52年11月	照山地区営農飲雑用水施設が完成
53年3月	北富田小学校が諸富野小学校に統合
同 3月	山方小学校舟生分校校舎が完成
同 4月	第3簡易水道が完成 (家和楽・盛金・諸沢・北富田)
同 8月	皆沢地区営農飲雑用水施設が完成
54年2月	長田小学校校舎改築が完成
同 4月	現在の山方町保育所が完成
同 8月	野上小学校校舎改築が完成
56年3月	第3簡易水道を拡張(久隆)
57年3月	町営野球場が完成
同 12月	「町報やまがた」100号を発行
58年2月	老人保健制度が発足

[illegible]

野上と小貫に町営住宅が完成。
(昭和50年4月号掲載)



町営住宅

二〇戸竣工

昭和四十九年度国庫補助事業として第一種住宅（難
易耐火平家建 一〇戸を野上金田閉地に、第二種住宅
（簡易耐火平家建 一〇戸を小貫小学校跡地にそれぞれ
建築いたしました。）

本事業は、昭和四十九年六月国の補助事業として採
択になり同年九月着工、五十年三月竣工し四月に入居
者が決定し入居しましたので、地元並びに関係者の御
協力をお願いいたします。

第二種住宅 小賣
一戸あたり坪面積四一五・七㎡

工事内容
第一種住宅 野上
一戸あたり坪面積四九八・〇㎡
間取 六畳、四畳、五畳、三畳、
押入三ヶ所、土間、台所
食事室、流し、洗面、洗
面所、浴室、外灯、遊具、
水道、植木

間取 六畳間、押入三ヶ所、
土間、台所、浴室、流し
便所、洗面所、浴室、
食事室、流し、洗面、洗
面所、外灯、遊具、
水道、植木

総工事費
四三、六八〇・〇円



大子町で開催された全
国植樹祭にご臨席され
るためご来県された天
皇皇后両陛下がご少憩
のため役場にお立ち寄
りになりました。
(昭和51年7月号掲載)

昭和58年5月、根本嘉朗氏が町長に初当選し、26日に就任式が行われた。

(昭和58年6月号掲載)

年 月	事 業
同 3 月	地籍調査事業が完了
同 4 月	町長選挙 根本嘉朗氏が初当選
同 6 月	町民憲章、町の花・木・鳥を制定
同 6 月	農林漁家高齢者センター（神奉地）が完成
59年 8 月	第1回「あゆの里まつり」を開催
60年 6 月	つくば科学万博で「山方町の日」が開催される
同 11 月	山方町30周年式典を開催。根本保氏・根本孫次氏・故根本三郎氏に名誉町民の称号
同 12 月	山方宿駅北側駐車場・歴史民俗資料館が完成
61年 4 月	「町報やまがた」を「広報やまがた」に改訂
同 11 月	県道岩井橋が開通
同 12 月	国道118号山方バイパスが開通
63年 6 月	パークアルカディア・御城展望台・清流公園が完成オープン
64年 1 月	昭和天皇崩御
平成	
元年 1 月	元号が「平成」となる
同 2 月	国道118号山方トンネルが開通
同 3 月	町が「活力ある町づくり」で自治大臣表彰
同 3 月	山方小学校校舎改築が完成
同 10 月	皇太子殿下全国植樹祭ご臨席のため山方町視察
3年 3 月	ふるさと創生事業で各区に50万円の助成
同 7 月	「広報やまがた」200号を発行
4年 3 月	（財）山方町ふるさと振興公社が発足

昭和63年5月、リフレッシュふるさと推進モデル事業により、パークアルカディアの各施設が完成。
(昭和63年5月号掲載)

[illegible]

昭和61年12月、国道118号山方バイパスが完成、開通した。
(昭和62年1月号掲載)

昭和61年11月、岩井橋の新橋が完成、開通した。
(昭和61年12月号掲載)

水と緑のあゆの里に新たな魅力



湧出した温泉



諸沢5区集落センターで開かれた出湯報告会

町では、地域振興の拠点づくりとして、昨年10月25日に温泉の掘削工事（請負業者ドリコ株式会社）を発注し進めてまいりましたが、この度、温泉がめでたく湧出したため、去る4月25日に諸沢5区集落センターで温泉出湯報告会が開かれました。

報告会には、根本嘉朗町長、小河原政也町議会議員、菊池博寿住みよいふさとづくり事業推進委員会会長をはじめ関係者50名が参加し、役場企画課長から工事の経過報告がありました。

掘削深度は1,500メートル・湯量は毎分約160リットル・湯の温度は約42.3度で湯量、温度とも予想を上回るものとなりました。

泉質は、ナトリウム…炭酸水素塩・硫酸塩・塩化物泉で、神経痛、筋肉痛、関節痛、五十肩、運動麻痺、関節のこわばり、うちみ、くじき、慢性消化器病、痔疾、冷え症、疲労回復などに効能があります。

今後は、諸沢と北富田地区はもとより町の活性化の拠点とし、町民の交流と健康増進を図るため、大字諸沢字細先地内に約3年をかけ、温泉を活用した健康増進交流施設の整備を行う予定ですが、その間温泉スタンドを設置し、町民を対象に無料で温泉を提供する予定です。

待望の温泉湧出

平成8年10月から温泉掘削を進め、同9年4月、湯量毎分160リットル、湯温42.3度の温泉が大字諸沢に湧出。

（平成9年5月号掲載）

平成5年10月、山方宿駅の新駅舎が完成。

（平成5年10月号掲載）

広報
やまがた

1993
(平成5年)
10
No.227

※YAMAGATA TOWN※
山方町民憲章
自然を愛し、美しい町にしましょう
健康でよく働き、豊かな町にしましょう
思いやりで心をくみ、あたたかい町にしましょう
教育を深め、文化の豊かな町にしましょう
力を合わせ、明るい町にしましょう

山方宿駅舎が完成

3月から新築工事が進められていた山方宿駅舎が、このほど完成しました。
山方町の自然をモチーフに木材を多用したモダンな外観と集会室、図書室や展示スペースなどコミュニティの中心となる内部の施設。
山方町の新しいシンボルとして観望されることでしょう。

同 4月	12年 2月	同 12月	同 11月	同 11月	同 11月	同 11月	10年 3月	同 4月	9年 4月	同 12月	同 4月	同 4月	同 4月	8年 4月	同 3月	同 3月	7年 3月	5年 10月	6年 3月	同 11月	同 5月	4年 3月
すこやかランド「三太の湯」がオープン	県道常陸太田烏山線（西野内〜諸沢）開通	「広報やまがた」300号を発行	ミレニアム記念祭を開催	第1回やまがた宿芋煮会を開催	町長選挙 三次真一郎氏初当選	「広報やまがた」300号を発行	学校給食センターが小貫に新築オープン	湯温約42度	諸沢に温泉が湧出（毎分160リットル、湯温約42度）	諸沢で温泉掘削工事開始	魚場完成	久隆にヤマメ・カジカ・ウグイの養	版に	「広報やまがた」がB5版からA4版に	久隆にヤマメ・カジカ・ウグイの養	版に	「広報やまがた」がB5版からA4版に	久隆にヤマメ・カジカ・ウグイの養	版に	「広報やまがた」がB5版からA4版に	久隆にヤマメ・カジカ・ウグイの養	版に

4月19日 民話の里に温泉伝説が始まった！

やまがたすこやかランド「三太の湯」がオープンしました。

「三太の湯」がオープンしました。この日は、多くの町民が参加し、大盛況でした。

山方町長 三次 真一郎

温泉湧出に伴い、町が大字諸沢に建設を進めていた日帰り温泉施設「やまがたすこやかランド三太の湯」が完成し、12年4月にオープンした。

（平成12年5月号掲載）

平成11年4月25日に47年ぶりに町長選挙が行われ、三次真一郎氏が初当選。5月に初登庁した。

（平成11年6月号掲載）

広報
やまがた

The Public Relations of YAMAGATA
1999
6
JUNE

三次町長初登庁

5月24日に初登庁し、花束を手にする三次真一郎町長

水と緑のあゆの里

APRIL 2003

The Public Relations of YAMAGATA

広報 やまがた

平成15年4月15日発行

4 第341

CONTENTS

- 平成15年度 山方町予算
- 金砂大祭礼・建礼で史上初の渡御行列
- 130年の歴史・盛
- 町内各小・中学校で開校式—
- 新職員定例会
- 町職員人事異動



謹記で史上初の
渡御大祭礼渡御行列
(11ページに開巻記事)

千年以上の歴史を持ち、72年に一度行われる西・東金砂神社磯出大祭礼が平成15年3月に挙行され、史上初めて行列が諸沢にたちより、祭事を行った。
(平成15年4月号掲載)

放課後も仲良く遊ぼうよ
学童保育所「あべひばり」開所



町では、放課後児童健全育成（学童保育）事業として、学童保育所「あべひばり」を7月1日に山方小学校敷地内に開所しました。学童保育は、保護者の方がお仕事を昼間家庭にいない場合などにおおむね10歳未満の児童を放課後に預かり、児童の健全な育成を図るものです。保育時間は、授業終了から午後7時までで保育料は1人月額3,000円です。ご希望の方は、役場保健福祉課までお問い合わせください。

第3子祝い金第1号です！
片岡利希ちゃん（大字長田）



町では、少子化対策の一環として、今年度から第3子となる赤ちゃんが生まれた場合に祝い金を給付する制度を設けています。この制度では、第3子が生まれた半年後に30万円、そのお子さんが小学校入学時に20万円が支給されることになっています。
このたびこの制度の第1号となる大字長田にお住まいの片岡由佳史さんのお子さんが利希くんが誕生し、三次町長から祝い金の給付決定通知書が手渡されました。

山方小学校敷地内に学童保育所「あべひばり」が開所。また、14年度から新設された第3子祝い金制度の第1号が認定された。

(平成14年8月号掲載)

同 4月	同 4月	同 9月	同 11月	13年 1月	14年 4月	同 6月	同 7月	同 11月	同 12月	15年 3月	同 3月	同 4月	同 4月	16年 2月	同 3月	同 4月	同 6月	同 7月	同 10月	同 10月
県広報コンクールで「広報やまがた」が広報紙町村Ⅱ部で特選	「おおみや広域聖苑」が完成オープン	「三太の湯」入館者10万人達成	第1回子ども議会を開催	学校再編検討委員会から答申書が提出される	西野内地区農業集落排水処理施設が完成	「22世紀の森」第1回植樹祭を開催	学童保育所「あげひばり」が開所	「三太の湯」入館者50万人達成	町村合併推進協議会（任意）を設置	西・東金砂神社磯出大祭礼が挙行される	学校再編により町内各小学校が閉校	新生「山方小学校」「山方南小学校」が開校	大宮町・山方町・美和村・緒川村・御前山村合併協議会を設置	山方小学校・山方南小学校の校章・校歌を制定	大宮町・山方町・美和村・緒川村・御前山村合併協定調印	県広報コンクールで「広報やまがた」が広報紙町村Ⅱ部で準特選	「盛金WAC」が地域再生計画認定	奥久慈グリーンライン林道（諸沢線）開通	「広報やまがた」最終号（No.359）発行	「常陸大宮市」誕生

ブン

大宮町・山方町・美和村・緒川村・御前山村

合併協定調印式

5町村の間で合併協定が整い、平成16年3月に調印式が行われた。

(平成16年3月号掲載)



調印を終え、協定書に署名する5町村の町長と関係者

「常陸大宮市」誕生にむけて

合併協定調印式

調印式には、5町村の町長、合併協議会委員など合併推進者約140名が出席

2004.3 広報やまがた (2)

山方小学校 6年 水口 大樹くん

山方南小学校 6年 本村 健希くん

学校再編により町内すべての小学校、分校が廃校になり、山方小学校、山方南小学校の2校が誕生した。

(平成15年5月号掲載)

「常陸大宮市」誕生にむけて

合併協定調印式

調印式には、5町村の町長、合併協議会委員など合併推進者約140名が出席

2004.3 広報やまがた (2)

放水始め！スピードと規律を競う 消防ポンプ操法競技大会那珂地区大会

9月12日に消防ポンプ操法競技大会那珂地区大会が那珂地区8市町村から12チームが参加し、大宮町（辰ノ口）の消防広場で開催されました。山方町からは、小型ポンプの部、ポンプ車の部にそれぞれ1チームが参加し、見事な操法を披露しました。

結果は、両チームとも惜しくも敢闘賞でした。



放水までの規律とスピードを競う操法競技

発足40周年を祝う

山方町老人クラブ発足40周年記念福祉大会

中央公民館で9月29日に老人クラブの発足40周年記念福祉大会が開催されました。大会には、町内の老人クラブから多くの会員が参加し、単位老人クラブや永年クラブ活動に尽力された方々に表彰状と感謝状が授与されました。

また、午後から行われた大衆演劇の「劇団“誠流一座”」の公演には、一般の観客も含め約1,000人が訪れ、盛大に40周年を盛り上げました。



40周年を祝い、壇上であいさつをする三次連合会長

いざという時に備えて 山方小学校避難訓練

山方小学校で地震や火事を想定した避難訓練が9月6日に行われました。「地震発生」の校内放送を合図に子どもたちは校舎から規律正しく校庭に非難する訓練が行われた後、学年ごとに地震の体験や煙の中の非難、バケツリレーでの消火、消火器の使い方など体験し、地震や火事の時の正しい行動を学びました。



実際に煙の中の非難し、煙の怖さを体験する子どもたち



おめでとうございます 第3子祝い金

このたび大字野上にお住まいの木村英雄さんに杏夏ちゃん、幸星ちゃんの子息のお子さんが誕生し、第3子となる幸星ちゃんが第3子祝い金制度に該当することになり、町から決定通知書が手渡されました。

「あなたの声21」

町長が答える

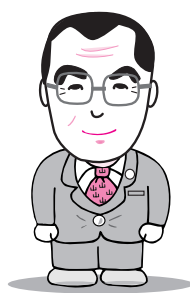
茨城県那珂郡山方町が誕生したのは戦後まもない、昭和22年9月1日でした。町制施行後の昭和30年に町村合併をし、翌年9月15日に『山方町報』が創刊されました。皆さんに山方町の実状を知っていただくとともに、真に明るい町づくりを期すために」と、当時の根本保町長は「創刊の辞」で述べておられます。爾来、『町報やまがた』から『広報やまがた』に名称を変え今回で359号となりますが、発刊の主旨と目的は十分達せられたものと思います。

見等をいただき、延べ52件に答えられました。ご指摘の範囲は多岐にわたり、ほとんどが建設的なご意見でした。中には議会等に関する難問もあり、越権となるのでお答えできなかった件もあります。一方、学童保育等ご提言の中から実現できたものもあり、嬉しく思っております。しかし、残念ながら積み残しもできました。今後の課題として、新市の行政の中で解決できるよう努力していきたいと考えております。

『広報やまがた』も「町長が答える『あなたの声21』」も、いよいよこれが最終号かと思うと感無量です。皆様からお寄せいただいたご厚情に感謝申し上げ、山方地域の活力ある発展と皆様方のご健勝を祈念し、筆を擱かせていただきます。

長い間、ありがとうございました。
 含掌低頭

茨城県那珂郡山方町が誕生したのは戦後まもない、昭和22年9月1日でした。町制施行後の昭和30年に町村合併をし、翌年9月15日に『山方町報』が創刊されました。皆さんに山方町の実状を知っていただくとともに、真に明るい町づくりを期すために」と、当時の根本保町長は「創刊の辞」で述べておられます。爾来、『町報やまがた』から『広報やまがた』に名称を変え今回で359号となりますが、発刊の主旨と目的は十分達せられたものと思います。



新人権擁護委員に 木村 孝吉氏



坪正敬氏の任期満了に伴い、新しく人権擁護委員に委嘱された木村孝吉氏

人権擁護委員は、国民の基本的人権を擁護し見守る、いわば民間人による人権の番人です。

人権擁護委員は、町長が推薦して法務大臣から委嘱されています。

山方町の人権擁護委員は次の方々です。

- 鹿島力男氏（大字山方696-1）
☎57-2811
- 鈴木泰全氏（大字山方658）
☎57-6039
- 木村孝吉氏（大字舟生84）
☎57-3047

ご長寿おめでとようございます

9月の敬老の日の行事として、町から77歳以上（9月1日現在）のお年寄りの方に長寿をお祝いして、祝いを差し上げました。また、金婚を迎えられたご夫婦には記念写真が贈られました。

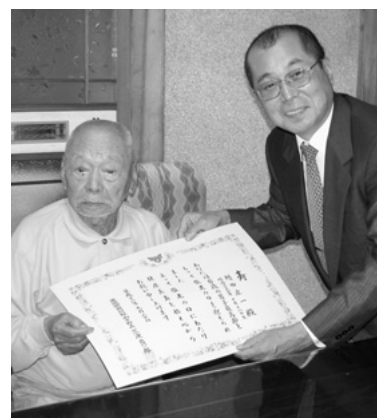
9月1日現在で町内の77歳以上の方は、1,110名、金婚を迎えられたのは、28組の方々でした。

また、町内での男女最高齢者は、増田庄一さん（大字山方・99歳）と後藤ふよさん（大字野上・100歳）で町長からお祝いをお渡ししました。

町内の男女最高齢者



後藤 ふよさん
 （大字野上：100歳）



増田 庄一さん
 （大字山方：99歳）

山方総合支所の仕事分担と電話番号

☎57-2121(代表)

市民課

(会計課分室兼務)

庶務係

自治組織、地域審議会、各地域の地域づくり、消防団、防災、防災行政無線、防犯、交通安全、県民交通災害共済、統計、旬報、本庁総合支所間の連絡調整

出納納税係

現金の出納・保管、市税の申告受付、市税の納税証明、納税貯蓄組合、原動機付自転車等の登録、地籍図の閲覧、市税・国民健康保険税・介護保険料・使用料・手数料等の収納

住民係

総合案内、戸籍・住民登録、印鑑登録、外国人登録、埋火葬許可、自動車臨時運行許可証、広域行政窓口サービス、諸証明書の交付、国民健康保険、国民年金、老人保健医療、高額療養費、出産育児一時金、医療福祉、環境保全、動物愛護、墓地、自然公園、小貫霊園

☎57-6812

福祉健康課

福祉係

患者輸送車、福祉バス、災害見舞金、生活保護、戦傷病者・戦没者遺族援護、身体障害者・知的障害者・精神障害者福祉、高齢者福祉、介護保険、児童手当、遺児弔慰金、母子家庭等児童福祉金、山方高齢者コミュニティセンター、山方保育所

健康推進係

健康診査、予防接種、感染症予防、老人保健、母子保健、精神保健、乳幼児保健、母子健康手帳

☎57-6811

経済課

(農業委員会を含む)

農林商工係

農地法に係る申請受付、農業共済、森林保全、鳥獣保護、狩猟、林業、水産、農林道整備・管理、農業用排水、土地改良事業、農産物等の加工施設・販売施設、畜産経営、家畜防疫、病虫害の防除、商工業・労働、観光・物産、観光施設、公園・緑地、温泉・源泉、淡水魚館・森林科学館・ケビン村・御城展望台等、水ぐるま

☎57-6813

建設課

土木建築係

道路・橋梁の新設・維持管理、河川・堤防関係、土木施設の災害復旧工事、市道の維持管理、道路台帳の整備・保管、市営住宅、土地開発・宅地分譲、建築確認、屋外広告物

水道係

簡易水道、量水器の検査・検針、給水・管路台帳、取水場・浄水場・送配水施設の維持管理、水源の汚染監視、水質検査

下水係

農業集落排水事業、戸別浄化槽設置の設置・管理、受益者分担金等の賦課徴収、浄化槽設置補助金

☎57-6817

教育事務所

学校教育係

幼稚園、奨学資金、教育行政相談、児童生徒の就学、学校施設、学校給食

生涯学習係

生涯学習の推進、社会教育関係団体の指導・育成、社会教育施設の管理、公民館運営、青少年健全育成、文化財保護、スポーツ振興、スポーツ施設の管理・運営、社会体育関係団体の指導・育成、学校体育施設開放、スポーツ教室

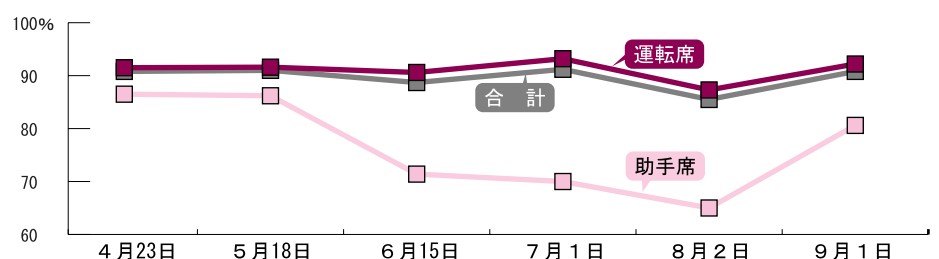
シートベルト着用調査結果 (協力: ヤッホーBれあいの会)

平成16年(4月~9月)



山方宿駅前でシートベルト着用調査をする会員のみなさん

調査日	運転席			助手席			合計		
	台数	着用者数	着用率	台数	着用者数	着用率	台数	着用者数	着用率
4月23日	235	215	91.5	37	32	86.5	272	247	90.8
5月18日	215	197	91.6	29	25	86.2	244	222	91.0
6月15日	255	231	90.6	28	20	71.4	283	251	88.7
7月1日	206	192	93.2	20	14	70.0	226	206	91.2
8月2日	228	199	87.3	20	13	65.0	248	212	85.5
9月1日	218	201	92.2	31	25	80.6	249	226	90.8



ブッカ先生の ワンポイント 英会話



Appreciation
感謝する

こんにちは 山方 Hello, Yamagata.

この1年間、大変に感謝しています。

For the past year I really appreciate living in yamagata.

さまざまな経験をしました。 I have experienced various things.

1 番目は、友達ができました。 First, I have made many friends.

2 番目は、自然に住んでいます。 Second, Living in nature.

3 番目は、太鼓が上手になりました。 Third, Becoming good at Taiko drums.

4 番目は、「あゆの里まつり」に参加しました。

Fourth, I participated in the summer festival.

5 番目は、カルチャープラザで生徒の英語がだんだん上手になりました。

Fifth, At the Culture plaza the students are improving their English!

あきらめてはなりません。 Never give up.

最後に、山方での経験は私の一生の宝物です。

Finally, For the rest of my life, I will treasure my experience in yamagata.



みなさんお元気ですか？

保健師です

保健福祉課

☎57-6812

あなたの適正体重とBMI（肥満度）は？

いよいよ秋も深まり、おいしいものが増えるこの季節は、つつい食欲が進み、その先に待っているのは肥満です。肥満の人は適正体重の人に比べて、糖尿病・高血圧・高脂血症などの生活習慣病を招きやいので、食事と運動を上手に組み合わせて適正体重を目指しましょう

●適正体重とBMI（肥満度）の出し方：

○ **適正体重**：身長（ ）m × 身長（ ）m × **22** = （ ）kg

* BMI（肥満度）が**22**の時に最も病気になりにくい値

○ **BMI（肥満度）**：体重（ ）kg ÷ 身長（ ）m ÷ 身長（ ）m

* BMIは身長と体重から体格指数を出して肥満の程度を知る方法です。



《例 身長178cm, 体重88kg の人の場合》

《* BMI（肥満度）の「判定基準」》

適正体重：

身長(1.78)m × 身長(1.78)m × 22 = (69.7) kg

* この方の適正体重は…69.7kg です

BMI(肥満度)：

体重(88)kg ÷ 身長(1.78)m ÷ 身長(1.78)m = 27.8

* この方のBMIは…27.8で肥満（Ⅰ度）です

18.5未満	やせ
18.5以上25.0未満	正常域
25.0以上30.0未満	肥満（Ⅰ度）
30.0以上35.0未満	肥満（Ⅱ度）
35.0以上40.0未満	肥満（Ⅲ度）
40.0以上	肥満（Ⅳ度）

(日本肥満学会)

●肥満予防の生活術

《食事編》

- ◎腹八分目を心がけましょう。
- ◎1日3回、規則正しく食事を摂りましょう。
- ◎就寝前3時間はなにも食べないようにしましょう。
- ◎ゆっくりかんで食べましょう。
- ◎お酒は適量を心がけましょう。
- ◎野菜や海藻をたくさん食べるようにしましょう。

《運動編》

- ◎エレベーターやエスカレーターを使わず、階段を歩くようにしたり、積極的に歩く習慣をつけましょう。
- ◎ダイエットに効果的なウォーキング・ジョギングやダンベル体操などの有酸素運動を週3日以上1回に20分～30分は実行しましょう。

読者に感謝の心を

堀江 文男



語りつぎたい奥久慈の秘話の資料を収集して、すでに五十有余年、先人達が語り残して下さった多くのお話が、まさに消滅の憂き目にさらされています。

長い間にわたり、「広報やまがた」の貴重な一ページを与えてくださった町当局と、ご愛読下さった町民の皆さんに深甚な感謝の念を捧げます。また、これらのお話を独特な語りで、資料の原点を与えて下さった方々に、心よりお礼のことを申し上げます。

これらのお話を読んで、町民をはじめ、多くの読者から、いろいろなご意見やご感想、ご指導などをいただき、大きい宝となりました。町外の方々からも、インターネットで広報を読み、感想を下

さった方々、山方町の古きよき時代とともに、故郷を見つめなおされた様子や自分のおかれる現状を見つめなおされたおことばに感動しました。

人に認められようとか、人に褒められようなどの意識は毛頭なく、ただ、「先達の残された貴重な精神文化の灯を消してはならない」の一念に燃え、先達のこのすばらしい秘話のもつ意義を後世に残すべく精進してまいりました。

十月十六日より「常陸大宮市」が誕生することにより、「広報やまがた」も最終号とか、広報に掲載されなかったお話もありますが、民話の里、すこやかランド「三太の湯」の命名、二十二世紀の森近く「三太の像」の建立、町内民話愛好者による語り、民話と人形劇、読み聞かせの会、紙芝居化などの活動など、親から子へ、子から孫へとこれらの話を語りながら、心の癒しをつないで下さっている姿に頭が下がります。

長い間のご愛読誠にありがとうございました。

最終号によせて

金子 理一郎



新村出編「広辞苑」(岩波書店)には、「こもんじょ」【古文書】過去の時代の資料となる古い文書。差出人、受取人、用件、日付などを備えた公文書、私文書をいい、古記録と共に最も重要」とあり、日記、覚え書や系図などは含まれないとされているが、近世古文書の場合は、古記録を含めてそれらの書き残されたものを古文書と呼んでいる。

これは、平成四年(一九九二)広報やまがた二月号(二〇七号)に初めて掲載した「町の古文書(一)」の書き出しの文である。最初は身近なところの「検地帳」「年貢割付帳」から取り上げた。平成十二年(二〇〇〇)五月号で一〇〇回目となり、更に、今年の九月号をもって終了することに

なりました。通算一五二回、一二年八カ月の長きに亘って掲載させていただきました。

毎月のように締切日に追われ、このように継続できたことは、多くの方々のご援助のおかげであります。どうしても固い内容になりますので、皆さんがどのように読んでくださるか心配でしたが、興味をもって読んでいたので続けてほしいとの励ましや、ご質問、ご意見などを寄せていただき、力強い後押しによって今日まで続けることができました。そして、家伝来の貴重な資料をお貸しくださいました皆さんに、厚くお礼申し上げます。

いつかは、このような形で終了することになるのは予想しておりましたので、そのときは、「山方の古文書」とでも題してまとめたものをつくりたいとは考えておりましたが、不勉強のために間に合いませんでした。今後のこととして考えていきたいと思っております。広報への掲載は終わりましたが、これからも公民館の講座等を通して古文書とのかかわりを続けていきたいと思えます。

わたしの作品

太田人権擁護委員協議会主催
「小学生を対象とする人権書道作品」最優秀賞



山方小学校 6年
細貝 紀満くん

最優秀賞に入賞することができて本当にうれしい気持ちでいっぱいです。夏休み中、毎日練習をしました。おじいさんのきびしい指導で手をとってもらい何回も書き、その中で良いと思う作品を学校に提出しました。先生に賞にはいったことを聞かされたときはびっくりしました。これからも少しずつ練習をして自分でも自信がもてるようにがんばりたいと思います。

わが家の わんぱく



木村 ^{ともよ}知世 ちゃん (H16.5.5生)
(大字盛金)

お母さんからのメッセージ
健康でのびのび育ってね。